9-④ 虚偽はおのずと消えてゆく

＜虚偽はおのずと消えてゆく＞

-静かに観察し、見守れ

スーパーマインドがいかにして罪と悪の両足を縛りつけてそれらを無能力にしてしまうかについて、次のような問答をここで挿入しようー

Qでは、『スーパーマインド』では罪と悪をどう定義するのですか?

A罪は、偽りのもの、真実でないものすべてです。別の言い方をすれば、霊的催眠下で行なわれる自己敗北的な行為はすべて罪です。スーパーマインドからでなく、偽りの自己から生きることで、われわれは愚かなことども

Q しかし悪というものはほんとうに存在するのでしょうか?

A存在し、かつ存在しないのです。このー見して矛盾接着した論理に煩わされてはなりません。

あなたは、あなたが邪悪なコブラを見たと思い、打とうとする、だが、コブラと見えたものが実は縄であったと分ったら、どこに邪悪がありますか? 目を覚ませば、邪悪は人から消滅するのです。

Qわれわれ自身の悪からどうすれば目覚めることができるのでしょうか?

A自分の悪なるものを、道徳的な判断はまじえずに静かに観察することで、それはあなたの眼の前で変っていきます。道徳的にあれこれと理屈をつけること、これだけは決してしてはいけません。自分から決して浅薄なお説

修行の途中で困難にであっても恐れてはいけない。抑替、大失敗、絶望、自分の悪といったものと戦ってはならない。「悪しき者に抵抗うな」。

悪にとってどうしても耐えきれないー事は、あなたがそれをあなた自身のうちに静かに、自己科弾もせず、パニックにも陥らず、戦うとともなく、黙って観察していることなのである。

人間は自分のネガティブな衝動力によって動かされ、それが行動化され外部に現われはするが、彼自身の中心であり真髄である彼の本質は決してネガティブな衝動の団塊ではない。われわれは、ネガティブなものはそれ自身

自己分裂がなく、内的なものと外面的なものとがーであるとき、人間はなんという素晴しい人格たり得るであろうか!

ネガティブなものからの自由は不思議で確実なプロセスで達せられる。われわれは、それが真の自己との結合をもたないことを知るには、その前に先ず、ネガティブなもの、たぶん敵対感情というものに気づかなければなら

すでに言ったとおり、このプロセスは不思議というほかはない。われわれ自身がすこしも恐ろしい存在ではないと知るためには、われわれ自身がどの程度恐ろしい存在であるのかを知らなければならない!

繰りかえす。われわれの内部にあるネガティブなものへの目覚めは、数氣山であれその他なんであれ、次のようなプロセスをとる。

まずまったく気づかれない、次に認知される、ついで認知はショッキングな感情を伴う。こうしてようやくネガティブなものからの解放となる。

Revision #2
Created 2 November 2024 08:52:07 by ゆう
Updated 2 November 2024 08:55:38 by ゆう